

週間展望・回顧(ドル、ユーロ、円)

September 24, 2021

## 米政府機関閉鎖や恒大デフォルトに警戒

- ◆ドル円、米国政府機関の閉鎖リスクや中国恒大の秩序あるデフォルトリスクに警戒
- ◆米 8 月個人消費支出価格指数や 9 月消費者信頼感指数、ISM 製造業景気指数にも注目
- ◆ユーロドル、9 月の消費者物価指数速報値に要注目か

### 予想レンジ

ドル円 108.00-111.00 円  
ユーロドル 1.1400-1.1900 ドル

### 9 月 27 日週の展望

ドル円は、米上院での暫定予算案の採決が難航し、米政府機関が閉鎖に追い込まれる可能性や中国恒大集団（オフショア）が秩序あるデフォルトに追い込まれる可能性などから、上値が重い展開が予想される。

米民主党は連邦債務上限を 2022 年 12 月まで凍結し、9 月末での政府機関閉鎖を回避するための暫定予算の法案の採決を目論んでいる。米財務省はデフォルトを回避するための特例措置が 10 月中に尽きる可能性を警告しており、債務上限の凍結が急務となっている。しかしながら、共和党は現状、上院で債務上限凍結の法案を阻止する方針を表明している。27 日の米下院でのインフラ投資法案の採決に注目が集まる。暫定予算法案が可決されれば、大半の連邦政府機関の閉鎖が回避され、12 月 3 日まで業務が続けられることになるが、採決が難航した場合、政府機関が閉鎖に追い込まれることになる。

また、9 月の消費者信頼感指数、シカゴ購買部協会景気指数、ISM 製造業景気指数では、個人や法人レベルでの景況感や雇用関連指標を見極めることになる。米連邦準備理事会（FRB）がインフレ指標として注視する 8 月の個人消費支出（PCE）価格指数では、7 月の前年比+4.2%から上昇しているのか、それともインフレ高進という FRB ハト派高官の見解を裏付けるのか要注目となる。

なお、ジョージ・ソロス氏が「中国版リーマン」と警告していた中国恒大集団は、オンショアの恒大地産集団が 23 日の利払いを履行したことで、無秩序なデフォルトへの警戒感が後退した。ただ、「中国当局が恒大集団の破綻に備えるよう地方政府に指示した」とも報じられており、オフショアでは最終的には秩序あるデフォルトに追い込まれるのではないかとの憶測も台頭している。29 日期日の利払いや年末に向けた 6 億ドル規模の利払いを注視していくことになる。

ユーロドルは、9 月の消費者物価指数速報値により、ユーロ圏のインフレ高進が一時的なのか、それとも恒常的なのかを見極めることになる。欧州中央銀行（ECB）理事会は、12 月の理事会でパンデミック緊急資産購入プログラム（PEPP）での月間購入額を 800 億ユーロから 600-700 億ユーロに減額すると示唆したが、9 月のインフレ率が 8 月の前年比+3.0%よりも上昇していた場合、大幅に減額される可能性もあるため警戒したい。また、ドイツ議会選挙の結果を受けた連立政権の組み合わせにも注目が集まりそうだ。

### 9 月 20 日週の回顧

ドル円は、109.12 円から 110.40 円台まで上昇。中国恒大集団のデフォルト（債務不履行）懸念が高まり 109.12 円まで下落したものの、恒大地産集団が人民元建て社債の利払いを履行し、パウエル FRB 議長が 11 月 FOMC でのテーパリング開始を示唆したことなどから、110 円台まで反発した。ユーロドルは、26 日の独連邦議会選挙への警戒感から、1.1755 ドルから 1.1684 ドルまで下落後、1.1750 ドルまで反発した。ユーロ円は、127.93 円から 129.60 円台まで上昇した。（了）